

平成18年12月期第3四半期業績要約(連結)

1. 業績概要(連結)

(単位:億円)

項目	第3四半期(累計) (H18.1~H18.9)	第3四半期(累計) (H17.1~H17.9)	増減	第3四半期(3ヶ月) (H18.7~H18.9)	第3四半期(3ヶ月) (H17.7~H17.9)	増減
売上高	6,664	5,937	727	2,394	2,027	367
営業利益	517	416	102	179	144	35
経常利益	441	354	88	156	119	37
四半期純利益	250	279	△29	99	71	29

項目	平成18年9月末	平成18年6月末	増減
総資産	10,277	9,809	468
有利子負債	4,302	4,277	25

セグメント別 売上高・営業利益(連結)

(単位:億円)

セグメント	第3四半期(累計) (H18.1~H18.9)	第3四半期(累計) (H17.1~H17.9)	増減	第3四半期(3ヶ月) (H18.7~H18.9)	第3四半期(3ヶ月) (H17.7~H17.9)	増減	
石油化学	売上高	2,413	2,194	219	960	768	193
	営業利益	126	174	△48	59	60	△1
化学品	売上高	575	534	41	195	172	23
	営業利益	29	32	△3	10	6	3
電子・情報	売上高	1,204	970	234	418	343	75
	営業利益	224	131	92	65	54	11
無機	売上高	536	451	85	184	153	31
	営業利益	113	62	51	41	20	21
アルミニウム他	売上高	1,936	1,788	149	637	592	45
	営業利益	49	65	△16	11	19	△8
共通・本部	売上高	-	-	-	-	-	-
	営業利益	△24	△49	25	△7	△15	9
計	売上高	6,664	5,937	727	2,394	2,027	367
	営業利益	517	416	102	179	144	35

2. ご参考数値(連結)【平成18年8月8日公表の通期業績予想】

(単位:億円)

項目	2006年12月期 通期業績予想	2005年12月期 通期業績実績	増減
売上高	9,000	8,119	881
営業利益	675	572	103
経常利益	560	470	90
当期純利益	265	156	109

セグメント別 売上高・営業利益

(単位:億円)

セグメント	2006年12月期 通期業績予想	2005年12月期 通期業績実績	増減	
石油化学	売上高	3,250	3,012	238
	営業利益	155	218	△63
化学品	売上高	800	740	60
	営業利益	50	47	3
電子・情報	売上高	1,650	1,339	311
	営業利益	320	197	123
無機	売上高	700	619	81
	営業利益	135	83	52
アルミニウム他	売上高	2,600	2,409	191
	営業利益	70	83	△13
共通・本部	売上高	-	-	-
	営業利益	△55	△57	2
計	売上高	9,000	8,119	881
	営業利益	675	572	103

業績予想は、資料作成時点における経済環境や事業方針などの前提に基づいて作成しております。
実際の業績は、経営環境の変化などさまざまな要素により、予想対比異なる結果となりうることをご留意ください。



平成 18年 12月期 第3四半期財務・業績の概況(連結)

平成 18年 11月 7日

上場会社名 昭和電工株式会社

上場取引所 東

コード番号 4004

本社所在都道府県 東京都

(URL <http://www.sdk.co.jp/>)

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 高橋 恭平

問合せ先責任者 役職名 IR・広報室長 氏名 佐藤 勝信

TEL (03) 5470 - 3235

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

①会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
法人税等の計上基準等に一部簡便的な方法を採用しております。

②最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

③連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有

連結 (新規) 1社 (除外) 1社

持分法 (新規) 1社 (除外) 0社

2. 平成18年 12月期第3四半期の財務・業績の概況(平成 18年 1月 1日 ~ 平成 18年 9月 30日)

(1)経営成績(連結)の進捗状況 (注)百万円未満の端数は四捨五入して表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年 12月期第3四半期	666,396	12.2	51,709	24.4	44,148	24.8	25,002	△ 10.5
17年 12月期第3四半期	593,699	10.5	41,557	14.7	35,386	32.7	27,946	137.2
(参考)17年 12月期	811,899		57,191		46,960		15,647	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
18年 12月期第3四半期	21.81	20.47
17年 12月期第3四半期	24.46	22.73
(参考)17年 12月期	13.70	12.82

※売上高、営業利益、経常利益、四半期(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

(2)財政状態(連結)の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
18年 12月期第3四半期	1,027,664	256,887	22.2	194.74
17年 12月期第3四半期	943,739	210,526	22.3	184.27
(参考)17年 12月期	986,233	206,738	21.0	180.96

3. 平成18年 12月期の連結業績予想(平成 18年 1月 1日 ~ 平成 18年 12月 31日)

平成18年12月期の連結業績は、概ね平成18年8月8日に発表したとおりの進捗を予想しており、通期業績予想の修正はありません。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

4. 経営成績（連結）の進捗状況、財政状況（連結）の変動状況に関する定性的情報等

(1) 営業の概況

当社グループは長期的・持続的成長への基盤確立に向けた新連結中期経営計画「プロジェクト・パッション」を本年より始動させ、成長事業への育成加速を図るとともに、事業構造改革とコストダウン施策を引き続き推進しました。

この結果、平成18年第3四半期（平成18年1月1日から9月30日まで）の売上高は、6,663億96百万円（前年同期比12.2%増）、営業利益は517億9百万円（前年同期比24.4%増）、経常利益は441億48百万円（前年同期比24.8%増）となり、当第3四半期純利益は250億2百万円（前年同期比10.5%減）となりました。

セグメント別の第3四半期（平成18年1月～9月）の営業概況は次のとおりです。

石油化学セグメントは、当上期の概況に加え、7月から9月について、オレフィンおよび有機化学品事業が引き続き旺盛な需要を受け高い稼働率を維持するとともに、原料価格の高騰を背景とする販売価格上昇により増収となりました。昭和高分子株式会社の合成樹脂事業は販売価格の上昇により小幅の増収となりました。

これにより、当セグメントの9ヶ月累計の売上高は2,412億66百万円（前年同期比10.0%増）となりましたが、営業利益は上期に実施した定期修理による生産量の減少により126億21百万円（前年同期比27.4%減）となりました。

化学品セグメントは、当上期の概況に加え、7月から9月について、液化アンモニア、アクリロニトリルの販売価格が上昇したため増収となりました。

特殊化学品においては、アミノ酸類の出荷が小幅に減少しましたが、合成ゴム「ショウブレン®」、分析機器用カラム「ショウデックス®」の出荷が増加し増収となりました。

これにより、当セグメントの9ヶ月累計の売上高は575億14百万円（前年同期比7.6%増）となりましたが、営業利益はアクリロニトリルが原料高騰を受け29億23百万円（前年同期比9.4%減）となりました。

電子・情報セグメントは、当上期の概況に加え、7月から9月について、ハードディスク（HD）事業が生産能力増強の寄与による数量増もあって増収となり、化合物半導体も販売数量が増加し増収となりました。

電子関連材料事業においては、レアアース磁石合金、ファインセラミックス、ファインカーボンがそれぞれ販売数量の増加により増収となりました。

これにより、当セグメントの9ヶ月累計の売上高は1,203億94百万円（前年同期比24.1%増）、営業利益は223億50百万円（前年同期比70.1%増）となりました。

無機セグメントは、当上期の概況に加え、カーボン事業が人造黒鉛電極の堅調な出荷により増収となりました。セラミックス事業は、アルミナを中心として数量、価格ともに堅調に推移し増収となりました。

これにより、当セグメントの9ヶ月累計の売上高は535億99百万円（前年同期比18.7%増）、営業利益は112億51百万円（前年同期比81.5%増）となりました。

アルミニウム他セグメントは、当上期の概況に加え、7月から9月について、アルミニウム地金は国際市況の高騰により増収となりました。圧延品、押出・機能材およびショウテック事業ともに、出荷増に加え原料高に伴う販売価格の上昇もあり、増収となりました。また、熱交換器事業も自動車向け出荷が増加し増収となりました。アルミニウム缶は販売数量減により僅かに減収となりました。

これにより、当セグメントの9ヶ月累計の売上高は1,936億24百万円（前年同期比8.3%増）となりましたが、営業利益はアルミ缶等一部の製品が原料価格上昇の影響を受け49億33百万円（前年同期比24.1%減）となりました。

（2）財政状態

（当中間期末（平成18年6月30日現在）との比較を行っております）

当第3四半期末の総資産は、原材料の価格上昇によるたな卸資産の増加、設備投資による固定資産の増加等により当中間期末比468億8百万円増の1兆276億64百万円となりました。有利子負債は当中間期末比24億91百万円増の4,302億22百万円となりました。当第3四半期末の純資産は、四半期純利益の増加等により当中間期末比61億39百万円増の2,568億87百万円となりました。

（3）中間決算後に実施した主な施策

（石油化学）

・株式交換による昭和高分子株式会社の完全子会社化

当社は、当社グループの機能性高分子事業の中核会社であり、ビニルエステルや生分解性プラスチック、エマルジョン事業において国内トップクラスの販売実績を持つ昭和高分子株式会社を、株式交換により本年9月1日をもって当社の完全子会社といたしました。

（電子・情報）

・ハードディスク研究開発棟を竣工

当社は、昨年10月より建設を進めてきたハードディスク研究開発棟を本年8月に竣工させました。新研究開発棟の完成を機に、垂直磁気記録方式の高度化をさらに進めるとともに次世代技術の研究開発を加速いたします。また、新棟では、強い需要を受け一部量産も行います。

- ・昭和電工エイチ・ディー株式会社を吸収合併

当社は、当社が全額出資するハードディスク製造子会社の昭和電工エイチ・ディー株式会社を本年11月1日をもって吸収合併いたしました。本合併により、ハードディスク事業の開発・営業・製造部門の一体化による効率的な運営体制の整備をおこないます。

- ・半導体・液晶パネル向け高純度塩素の生産能力増強

当社は、半導体や液晶パネルの製造に使用される高純度塩素の需要の伸長に対応し、川崎製造所の高純度塩素の生産能力の増強に着手いたしました。現在年産300トンの高純度塩素の精製および充填能力を有しておりますが、2007年上期中に精製能力を1000トンへ、充填能力を600トンへそれぞれ引き上げます。

- ・半導体・液晶パネル向け特殊材料ガス販売子会社を韓国に設立

当社は、韓国における半導体・液晶パネル市場向け特殊材料ガス事業を本格的に展開するため子会社「韓国昭和化学品株式会社」を設立し、本年11月より営業活動を開始いたしました。新会社の設立により、当社グループの本事業は5カ国・地域の販売拠点（日本、台湾、中国、シンガポール、韓国）を有することとなりました。

- ・中国における第2の磁石合金生産工場の建設開始

当社は、中国江西省贛州市に、東海貿易株式会社および中国のレアアース原料メーカー2社と共同で子会社「贛州昭日稀土新材料有限公司」を新たに設立いたしました。

これにより、今後急速な伸びが見込まれる自動車等向け高性能磁石原料の安定調達が可能となります。新会社の設立により当社の中国での磁石合金事業は、内蒙古自治区包頭地区の子会社と合わせ、2拠点で合計3,000トンの生産体制となります。

- ・カーボン・ナノファイバー「VGCF®」の生産能力を増強

当社は、リチウムイオン電池の添加材等に使用されるカーボン・ナノファイバー「VGCF®（気相法炭素繊維）」の生産能力の増強を行うことを決定いたしました。本年下期に着工し、2007年より従来の年産40トン体制から年産100トン体制に移行する予定です。

(アルミニウム他)

- ・アルミニウム一般箔事業から撤退

当社は、食品の包装用等に使用されるアルミニウム一般箔事業からの撤退を決定いたしました。製品の受注は本年12月、販売は2007年4月末をもって終了する予定です。

- ・ペットボトルリサイクル製品「ショウワエコパイプ®」新発売

当社の連結子会社である昭和電工建材株式会社は、世界で初めて使用済ペットボトル

を原料とした住宅用排水・通気・換気パイプ「ショウワエコパイプ®」を開発し、本年7月より本格的に販売を開始いたしました。

要約連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当第3四半期末 〔 18.9.30 〕 〔 現 在 〕	中間期末 〔 18.6.30 〕 〔 現 在 〕	増 減	前期末 〔 17.12.31 〕 〔 現 在 〕	増 減
(資産の部)					
流動資産					
現金及び預金	34,260	28,538	5,723	37,273	△3,013
受取手形及び売掛金	184,828	162,719	22,109	161,054	23,775
たな卸資産	91,010	84,407	6,603	77,336	13,675
その他の	32,433	30,047	2,386	42,380	△9,947
計	342,532	305,711	36,821	318,043	24,489
固定資産					
有形固定資産	540,877	525,339	15,537	510,904	29,973
無形固定資産	18,670	23,216	△4,546	24,278	△5,608
投資その他の資産	125,585	126,589	△1,005	133,008	△7,424
計	685,132	675,145	9,987	668,190	16,942
資産合計	1,027,664	980,856	46,808	986,233	41,431
(負債の部)					
流動負債					
支払手形及び買掛金	164,974	138,216	26,759	140,181	24,794
短期借入金	109,352	99,690	9,662	97,773	11,580
コマーシャルペーパー	8,000	-	8,000	-	8,000
1年以内返済予定の長期借入金	72,085	74,218	△2,133	92,460	△20,375
1年以内償還予定の社債	8,500	23,500	△15,000	15,930	△7,430
その他の	60,669	52,726	7,943	45,042	15,627
計	423,580	388,350	35,230	391,384	32,195
固定負債					
社債	41,874	38,875	2,999	47,500	△5,626
長期借入金	190,411	191,448	△1,037	195,168	△4,757
退職給付引当金	36,856	38,713	△1,857	42,617	△5,762
その他の	78,056	72,722	5,334	53,774	24,282
計	347,197	341,758	5,438	339,059	8,137
負債計	770,777	730,108	40,669	730,444	40,333
少数株主持分	-	-	-	49,050	△49,050
(純資産の部)					
株主資本					
資本金	110,515	110,514	1	110,451	63
資本剰余金	26,556	11,157	15,399	11,090	15,466
利益剰余金	43,425	33,485	9,940	21,868	21,557
自己株式	△160	△114	△46	△96	△64
計	180,336	155,042	25,294	143,314	37,022
評価・換算差額等					
その他有価証券評価差額金	19,538	19,148	390	19,485	53
繰延ヘッジ損益	2,159	3,225	△1,066	-	2,159
土地再評価差額金	24,181	24,181	-	42,339	△18,158
為替換算調整勘定	2,274	1,123	1,151	1,600	674
計	48,153	47,678	475	63,425	△15,271
少数株主持分	28,398	48,028	△19,630	-	28,398
純資産計	256,887	250,748	6,139	206,738	50,149
負債、純資産合計	1,027,664	980,856	46,808	986,233	41,431

(注) 前期の(資本の部)は、「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準第5号)にあわせて(純資産の部)に組替表示している。

要約連結損益計算書

【当第3四半期(9ヶ月累計)】

(単位：百万円)

項 目	当第3四半期 〔 18. 1. 1から 18. 9. 30まで 〕	前第3四半期 〔 17. 1. 1から 17. 9. 30まで 〕	増 減
売 上 高	666,396	593,699	72,697
売 上 原 価	552,591	490,098	62,493
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	62,097	62,044	52
営 業 利 益	51,709	41,557	10,152
営 業 外 収 益	4,241	5,276	△1,036
営 業 外 費 用	11,802	11,447	355
経 常 利 益	44,148	35,386	8,761
特 別 利 益	4,746	5,918	△1,172
特 別 損 失	7,089	3,343	3,747
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益	41,804	37,961	3,843
法 人 税 等	14,735	8,395	6,340
少 数 株 主 利 益 ま た は 損 失 (△)	2,068	1,620	448
四 半 期 純 利 益	25,002	27,946	△2,944

【当第3四半期(3ヶ月)】

(単位：百万円)

項 目	当第3四半期(3ヶ月) 〔 18. 7. 1から 18. 9. 30まで 〕	前第3四半期(3ヶ月) 〔 17. 7. 1から 17. 9. 30まで 〕	増 減
売 上 高	239,404	202,749	36,654
売 上 原 価	200,246	167,934	32,311
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	21,233	20,373	860
営 業 利 益	17,925	14,442	3,483
営 業 外 収 益	1,347	1,224	122
営 業 外 費 用	3,642	3,726	△84
経 常 利 益	15,629	11,940	3,689
特 別 利 益	997	869	128
特 別 損 失	656	798	△142
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益	15,970	12,011	3,959
法 人 税 等	5,380	4,374	1,006
少 数 株 主 利 益 ま た は 損 失 (△)	650	557	93
四 半 期 純 利 益	9,940	7,080	2,861

セグメント別 売上高・営業利益

【当第3四半期(9ヶ月累計)】

(単位:百万円)

部 門		当第3四半期	前第3四半期	増 減
		[18. 1. 1から 18. 9. 30まで]	[17. 1. 1から 17. 9. 30まで]	
石 油 化 学	売 上 高	241,266	219,367	21,899
	営 業 利 益	12,621	17,386	△4,765
化 学 品	売 上 高	57,514	53,436	4,078
	営 業 利 益	2,923	3,226	△303
電 子 ・ 情 報	売 上 高	120,394	96,998	23,396
	営 業 利 益	22,350	13,141	9,209
無 機	売 上 高	53,599	45,137	8,463
	営 業 利 益	11,251	6,199	5,052
ア ル ミ ニ ウ ム 他	売 上 高	193,624	178,762	14,861
	営 業 利 益	4,933	6,495	△1,563
共 通 ・ 本 部	売 上 高	—	—	—
	営 業 利 益	△2,369	△4,891	2,522
計	売 上 高	666,396	593,699	72,697
	営 業 利 益	51,709	41,557	10,152

【当第3四半期(3ヶ月)】

(単位:百万円)

部 門		当第3四半期(3ヶ月)	前第3四半期(3ヶ月)	増 減
		[18. 7. 1から 18. 9. 30まで]	[17. 7. 1から 17. 9. 30まで]	
石 油 化 学	売 上 高	96,021	76,756	19,264
	営 業 利 益	5,884	5,978	△95
化 学 品	売 上 高	19,473	17,185	2,287
	営 業 利 益	966	649	317
電 子 ・ 情 報	売 上 高	41,792	34,331	7,462
	営 業 利 益	6,502	5,374	1,128
無 機	売 上 高	18,387	15,294	3,093
	営 業 利 益	4,098	2,047	2,051
ア ル ミ ニ ウ ム 他	売 上 高	63,731	59,183	4,548
	営 業 利 益	1,140	1,941	△801
共 通 ・ 本 部	売 上 高	—	—	—
	営 業 利 益	△664	△1,547	883
計	売 上 高	239,404	202,749	36,654
	営 業 利 益	17,925	14,442	3,483